

自治連

あさか

平成24年
2月1日
第7号

朝霞市自治会連合会



平成23年5月20日撮影

ごあいさつ



朝霞市自治会連合会会長
島 礼次

自治会連合会の皆様には、日頃から当自治会連合会、地域の自治会・町内会活動に御支援と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

皆様方のおかげをもちまして、昨年も自治会連合会の諸行事を無事終了することができましたことに重ねて御礼申し上げます。

昨年三月に東日本大震災が発生し、地域の皆様方のつながりや助け合いが改めて問われております。日頃の人と人との交流が非常時の協力につながると言われておりますが、残念ながら自治会・町内会加入率は年々低下している状況です。地域の良好なつながりを保つためにも、皆様より一層のお力添えが必要です。

また、まだ自治会・町内会に加入されていない方にこの「自治連あさか」をご覧いただき、自治会・町内会活動に少しでも興味を持っていただくことで、一人でも多く加入していただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様の御多幸と各自治会・町内会のみますますの御発展を祈念申し上げます、ごあいさつといたします。



朝霞市長
富岡 勝則

自治会連合会の皆様には、日頃から市政全般にわたり、多大なるお力添えを賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

先の震災を契機に、改めて地域の絆が見直され、自治会活動に熱い視線が注がれています。そのような中、自治会連合会の皆様は、昨年、地震への備え・対応を学ぶため、急きょ防災講演会を開催するなど、タイムリーな事業を展開されています。このように、皆様ご自分たちの地域を良くしようと活躍されていることは、市政を預かるものとして、大変心強く感じる次第です。私も、自治会長の皆様との意見交換会などを通じて地域のご意見を賜りながら、まちづくりを行ってまいりたいと決意を新たにしております。

朝霞市自治会連合会の活動や各自治会・町内会の特色ある活動を掲載したこの「自治連あさか」が多くの市民に愛読され、自治会・町内会活動に対する理解が深まり、自治会加入者が増えることをご期待申し上げますとともに、朝霞市自治会連合会のみますますのご発展を祈念申し上げます、あいさつとさせていただきます。

自治会長研修会

研修テーマ

— 環境 —

朝霞市自治会連合会では、自治会長研修会として毎年テーマを決めて先進地視察などを行っています。今年度は、昨年度に引き続き「環境」をテーマとし、11月17日～18日に開催しました。



▲風力発電設備

▶今、注目の自然エネルギーの最先端企業である、株式会社 日立エンジニアリング・アンド・サービス大沼工場を訪問しました。同社は、風力発電のほか、工場内でも省エネなどさまざまな取り組みを行っており、自然エネルギーを取り巻く現状を学んだほか、発電装置などを見学しました。

▶2日目は、株式会社LIXIL つくば SOLAR POWER を訪問し、国内最大級のメガソーラー発電施設の視察を行いました。



▲屋上ソーラー発電装置

日立エンジニアリング・アンド・サービス大沼工場は、太陽光発電設備や、ガスエンジンシステムなどを備えた、本格的な地球環境に配慮した工場です。

風力発電や、発電時に排出した熱を回収する新しいエネルギー供給システムであるコージェネレーション（熱電併給）システムを利用した地球環境への配慮のほか、工場活動自体

においても省エネルギー化に取り組んでいます。

今回の視察研修は、まず研修室において自然エネルギーや、大沼工場を取り扱っている再生可能エネルギーの発電装置などについての説明を受け、その後実際にコージェネレーションシステムのひとつであるガスエンジンシステムや、屋上ソーラー発電装置、風力発電装置などを見学しました。

研修室のあるエネルギーソリューションセンターは、太陽光発電設備や人感センサー照明、躯体蓄熱バッテリー空調システムなどを導入することにより、従来のオフィスに比べ使用エネルギーを33%削減することに成功したそうです。

また、コージェネレーションシステムの一环であるガスエンジンシステムは、電気だけではなく、その生産過程で生じる蒸気や温水を再利用できることから、エネルギーの無駄が



▲大沼工場視察の様子

少なく、従来38%程度であったエネルギー活用率を70～85%まで高めることが可能になったということです。現在大変脚光を浴びている再生可能エネルギーですが、どうしても気象状況によって発電量に波があるようです。今後は、出力量の安定化が急務であり、発電量の予測による制御が課題になるとの説明がありました。

現場で熱心に説明してくれた若いエンジニアの方々の、自社の仕事に対する誇りと熱意が伝わり、参加者からも大変勉強になったとの声が聞かれました。



市長を囲む 意見交換会

質問順	提出者	質問内容
1	自治会連合会	【公園の管理について】 ①城山公園の整備について ②水久保公園の管理について ③公園の砂場の管理について ④公園内のトイレについて
2	自治会連合会	連合会への加入について
3	上の原町内会	四小跡地の有効利用について
4	三栄自治会	放射線量測定について
5	浜崎東町内会	浜崎通りの歩道の拡幅
6	浜崎上町内会	市内循環バスの停留所の見直しについて
7	浜崎団地自治会	通りの名称と表示板について
8	浜崎団地自治会	歩道橋の改修について
9	浜崎団地自治会	防災無線の確認について
10	浜崎親交会	廃屋について
11	霞ヶ丘東親和会	北朝霞駅前整備について

朝霞市自治会連合会では、毎年、「市長を囲む意見交換会」を開催しています。この事業は、自治会・町内会長と市長及び市執行部とが意見交換をすることで、よりよい自治会運営を目指すことを目的としています。

今年度も10月28日に朝霞市民会館において開催し、多くの自治会・町内会長が出席し、市政について11問の質問(左表参照)を行い、市執行部から回答を頂きました。

以下に、自治会・町内会からの質問と市の回答について、一部を抜粋して紹介します。

北朝霞陸橋脇の歩道橋について



北朝霞陸橋脇の歩道橋を以前修繕していただきましたが、レンガがはがれ補修したところが浮いてつまずき、歩きにくい状態です。全面的に改修できないでしょうか。



現在、北朝霞陸橋の落橋防止対策工事に合わせ、歩道橋につきましても落橋防止対策工事請負業者に舗装の工事を委託しております。

ご指摘の歩道橋の床の状態につきましては、平成22年度と平成23年度に応急処置を実施いたしました。

しかしこの歩道橋は、市内の歩道橋の中で交通量が多いため、できるだけ早い時期に改修をしたいと考えております。

なお、改修にあたりましては、現状のブロックから弾性ゴムチップ舗装に変更する予定でございます。



「防災講演会」 朝霞市自治会連合会主催



平成23年9月28日午後6時より、朝霞市コミュニティセンターにて、講師に朝霞消防署浜崎分署長の尾口寿敏氏をお迎えし、「防災講演会」を実施しました。

尾口氏は、平成23年3月11日の東日本大震災直後、緊急消防援助隊として岩手県陸前高田市に急行し、援助活動を行いました。その際の様子や援助隊の活動内容などを、被害の映像も交えてお話しいただき、参加された市民の皆さんは熱心に聞き入っていました。



各地区の自治会活動報告

上の原町内会

会長 井上剛男

第一区 上の原町内会の1年

朝霞市の市域に「上の原」という町名はありません。では、上の原町内会の位置は何処かというところ、区画は幸町2丁目の南側一帯と同3丁目全域に町内会が分布しています。

「上の原」のいわれは旧川越街道と黒目川が交わる付近一帯が、往事は宿場町として栄え膝折と呼ばれていた所で、その中心を中宿といい、現在も村田屋の屋号を持つ脇本陣が残っています。当町内会は旧膝折の東側の台地形の上にあつたので上の原と呼ばれているものと思われま

す。現在、上の原町内会は加入戸数が300程の小規模な町内会の一つです。しかし、先人が組織の維持・融和に苦労されたことや、会員の理解もあつて非常にまとまりのある町内会になっています。近頃はマンションや戸



▲ 盆踊り大会

建住宅の新築により若い層の流入はありますが、残念ながら町内会に対する関心は割と希薄で、町内会の活動基盤はどうしても在来所帯に偏る部分が多くあります。しかし、在来所帯も高齢化が進んできていますので、特に人手の要る事業の推進には要員集めに苦労しています。

表題の町内会の1年については、他

の自治会・町内会同様4月を年度初めとしてスタートします。以降、総会で20項目程決められた行動計画で活動を進めますが、中でも力のいるものは年間4回もある各種の募金活動、自前で営む盆踊り大会、市民体育祭参加と日帰りバス旅行等です。

また、定例的な作業となつているのが市の広報の配布です。月2回、中旬と月末に市役所から届きますので午後7時開始と定例化を図り、各区より分担制で担当者を出して貰い、年間計24回の配布作業を行っています。この日には、付近の学校、福祉団体等からも種々の発行物の配布依頼もあり、引き受けて便宜を図っています。

またこの時に、町内会事業の進展の状況、予定事業や種々の行事のお知らせ、講演会、募金の要領等、会員に知ってもらいたい事項については、A4用紙1〜2枚ですが、《連絡あれこれ》という通信紙を配布日に回覧形式(重)要なもの全戸配布)で発行し、会員

への周知を図っています。年度初めに掲げた活動計画を実行しながら、市の関係や、その他の外部団体からの連絡会、説明会、講演会、行事への参加等多岐にわたり数多くあり、22年度は48回を数えました。

町内会の1年間を振り返りますと、毎日毎日何かしら起こっていますが、問題の処理や解決に、若い層の会員は日常が忙しく、奉仕の気持ちがあつても時間に余裕がないとして町内会業務が敬遠され、高齢役員に負担がかたよつているのが現状ではないかと痛感されます。

下の原文文化会

会長 田中秀司

第二区 小さな町会の小さな活動

朝霞第五小学校前の武蔵野線高架をくぐり三原1丁目の交差点方向に200メートル、この右側の住宅街が下の原文文化会です。

3本の路地を挟んで、歩いて一周しても5分とかからぬ世帯数90の小さな町会です。会員には高齢の方も多く静かに過ごされています。大きな行事はできませんが、年2回、近くの会館で開催する親睦会には大勢の方が参加しお酒や軽食を囲んでの歓談やカラオケで盛り上がります。

これからの心配は高齢化と一人暮らし世帯が増えることです。小ささを活かしての情報の共有や皆さんでの声かけなどが大事でしょう。また近隣5町会での自主防災会、三原公園の拡張など、周囲の町会との共同事業への参画は今後も大切です。これにより会員のみなさんの意識をより高められればと思います。

路地を通り抜ける親子が「この路地花がたくさんあってキレイ！」と話していました。季節の草花を大切に育てる皆さんが大勢いる町会です。



▲役員の皆さんと日頃の清掃活動

第三区

溝沼第一町内会

会長 星野 隆

**町内会活動における
住民の絆**

溝沼第一町内会は、第一小学校と泉水保育園の付近一帯で、溝沼地区、膝折町の一部と泉水地区からなり、町内会に加入している世帯数は約1,300で大所帯の部類に入ると思います。班数も125もあり、役員は連絡体制の維持に奔走しております。当町内会の区域を縦横に黒目川が貫いておりますので、住民はもちろんのこと、早朝より散歩する人など多くの人たちが川筋に沿って思い思いに楽しんでいるようです。このような住環境からか川筋における環境保持の意識は高く、20年以上にわたりの清掃を行ってまいりました。

また、防犯活動も「町を見守る」を合言葉に夜間のパトロールを実施しており、その活動も10年を迎え、地区を2班に分け巡回しております。

さらに、平成22年度より児童育成活動の一環として「さつま芋掘り大会」を開催し、100名の親子連れが参加しました。農園の方に農業についてお話をいただきながら、朝霞ブランドである「朝霞甘蒔」を町内会館で試食して楽しみました。

その他の活動として「納涼祭」「朝霞



▲さつま芋掘り大会

市民体育祭「彩夏祭」「溝沼連合自主防災会」に参加し、「敬老の日のお祝い」「児童育成活動」を行っております。

さて、東日本大震災で被災された皆さんに対して日本中が「絆」の言葉の下に救済復興にあたっております。納涼祭には募金箱を設置し義援金を募りました。被災された皆さんは地域住民のつながりの重要性を改めて感じたそうです。今後は私たちが町内会活動を通じて住民相互のつながりをより深くしていくよう努めたいと思います。

これからの行事を通じてふれあいの絆を深め、「安心・安全」のある明るい町内会になるように会員の皆さんと頑張っている溝沼第一町内会です。

第四区

桜ヶ丘町内会

会長 田沼 貢

安心と静かな町内会

桜ヶ丘町内会は起伏が激しく県道の坂の下にあり、町内会の中央にある通りは県道の騒音が聞こえないと同時に、私道のため車の往来ができません。そのため、中央の通りは静かで住みやすい所です。難点を言えば坂道の上り下りが高齢者には少しきついかもしれませんが、子どもたちにとっては車の往来がないため自由に遊べるよい所です。

ただ、静かなだけに防犯には気を使いました。蛍光灯がほんのりと点いているだけのため、はつきり顔が見えず、さらに蛍光灯が切れる頻度が多く暗がりができることがありました。そこで、蛍光灯切れを回避すると同時に薄暗さを解消したいと考え、3年前にLED方式に取り替えたところ、明かりの下に立つと顔まではっきりと見えるようになり、防犯に役立つようになりました。

また、球切れがなくなり、蛍光灯の特徴で明かりがチカチカする問題も解消、町内会費の出費も節約され、住民が安心して歩けるそんな町内会です。

その他町内の活動としては秋に、「初秋の夕べ」と名付け町内全体で焼きソ



▲新しい街路灯

バやおでんなどを揃え、町内の道路を使用して活動しています。今年度は大震災もあり自粛しましたが、来年度は活動を再開しようと思っています。

初秋の夕べは町内全体の「和」をはかるところを目的とし、普段会わない人も和気あいあいと、道路も私道のため車も通りません。子どもたちは自由に飛び回り、大人は交流をはかり賑やかにひと時を過ごし、規模は小さいのですが子どものおもちゃ、氷、ビール、焼きソバなどを用意し最後に福引をします。福引は1等から5等まで空クジはなしで、自転車、米などが当たります。

今後の課題もあります。起伏が激しく災害時にどんな体制で避難すべきか、また、身近に避難することのできる場所(第四小学校)があるのに、市から指定された避難場所は遠い別の場所にあるなど、検討課題が山積しており、見直しが必要な問題に直面しています。

第五区

霞台町内会

会長 菊田修一

地域住民との親睦を深める為に

我が霞台町内会は、栄町・昭和台広沢町に隣接した小さな町内会ですが歴史は古く、今期は50期目になりました。

過去にはスポーツ等も盛んで、昭和50年代には少年野球大会で好成績を上げたり、地域ボウリング大会も行われていたようですが、一時その勢いも衰え、もの静かな町内会でした。しかし前会長から始まった市民体育祭への参加、防犯パトロールへの参加、もちつき大会等、各行事への参加により、地域住民同士が交流する場面が増えたこと



▲町内の餅つき大会

とで、以前より住民同士声を掛け合うことが多くなってきているようです。特に市民体育祭参加当初は、周りの子どもたちから「かだいでってどこ?」などと言う言葉が聞こえたりしましたが、最近では、周囲の大人たちから子どもたちに「あなたたちのところは、まとまっているわね」と言われるようになってきました。

また最近では、はらっぱ公園というところで焼きいもを焼いてちらかし放題になっているのを早朝に近所の方が見つけました。市役所・警察と連携し無事処理が終わりりましたが、それも近所の方たちの防犯パトロールに対する関心の深さのおかげではないかと思えます。

今後とも各事業・行事を通じて、地域の皆さまとの親睦を深め、町内会にいて良かったと思われるようになっていきたいと思えます。

向山自治会

副会長 藤井正吉

第六区 緑の多い住みよい町に

向山自治会は、緑豊かな城山公園を望み、季節の折々に野鳥を見ることのできる、黒目川沿いにある280世帯の地域です。年間行事は、定期総会に始まり納涼大会、市民体育祭に参加、



▲行事は会員同士協力して行います

消火訓練、レクリエーション大会、餅つき大会を開催するなど地域のコミュニティを重視しています。

子供会では、納涼大会で子供による出店、夏休み中のラジオ体操、夕涼み大会、子ども会歓送迎会(卒業生・新入生)等を行っています。

老人会の「向山鶴寿会」では、年1回の2泊3日の親睦旅行、また月2回の「お楽しみ会」を実施、保健師さんによる血圧測定、健康相談があり、健康体操、フォークダンス、カラオケ合唱、茶話会など楽しく過ごしています。納涼大会ではゆかた姿も若々しく、踊りに参加しています。

防災活動も自主防災倉庫が完成し、

年1回の防災訓練と防災施設の見学、消火訓練には業者の指導による火災の初期消火を消火器を使用し体験してもらい防災の意識を高めています。

防犯活動としては防犯灯を蛍光灯から全部水銀灯に換え、夜間のパトロールを行っています。今後も年間行事を中心に、会員皆様の協力により住みよい地域を目指していきます。

第七区
浜崎上町内会

会長 伊藤允光

日帰り研修見学会

急な階段を降りて行くと、東洋のナイアガラと呼ばれ、その滝つぼは竜宮へ通じているという伝説も残る壮大な水しぶきをあげた『吹割の滝』の姿が現れました。

今年で9回目を迎えた日帰りの研修見学会。今年は防災をテーマに車内研修し、りんご狩りや道の駅「田園かわば」でのショッピングを楽しみながら親睦を深めた楽しい一日でした。車内では、

1. 「東日本大震災く宮城・石巻地方沿岸部の記録くふるさと石巻の被災状況」
2. 「地震だ！その時どうする？自分を守り、みんなで助け合おう」
3. 「ふせごう―家具転倒防止対策―」

の3本のDVDを見ながら、いつおきるか分からない、他人事ではない防災についてもう一度考えさせられました。今まで防災関係では、埼玉県防災センター・横浜防災センター・川越消防署・朝霞消防署浜崎分署など、また環境問題では、川口市環境センター・太平洋セメント(株)日高工場などいろいろとテーマを絞って研修会を開いています。

当町内会は朝霞台・北朝霞駅周辺がエリアとなっており、古くから住んでいる会員と新しい会員の相互の交流の場、親睦の場としての研修会の位置づけも必要不可欠となっています。



▲研修見学会で訪れた吹割の滝

第八区

浜崎親交会

会長 鈴木 實

町内会の基本は絆です

町内会未加入の家があると、隣近所の絆が保たれなくなります。そこで根気よく一軒一軒訪問したり、新築アパート、新築マンションに加入を働きかけた結果、150軒だった町内会が250軒に増えました。

絆づくりのため、昨年度より納涼大会を開催しています。町内会全戸に無料引換券を配り、「焼きそば」「焼き団子」「飲み物」「フランクフルト」と交換できるようにしました。子供会と協賛のため大勢の参加者で賑わい、子どもたちは夏休み最後の日曜日を楽しんでいました。町内会会員のための納涼大会であり、身の丈にあった範囲内で実施するため、寄付集めなどは一切しません。売価も50円〜100円と喜んでもらえる値段にしています。手作りのアイスボックスや輪投げなど、アイデア満載の楽しい大会です。

また一人暮らしの人が年々増えており、家に引きこもらないか、話し相手がいるのか心配がありました。そこで、2年前より「季節の会」と称し3カ月に1回お茶会を始めました。皆が集まってお茶を飲みながら顔を合わせ、

おしゃべりをする。そして「童謡・唱歌」の本をつくり皆で歌い、また健康体操もしています。そして、時にはバイオリン演奏や大正琴の演奏をお願いして聞きました。手作りのお菓子や料理を持ち込んだりして楽しんでいきます。一人暮らしの人の不安を聞いてみると、いざ具合が悪くなった時どうしたらいいかということでした。そこで「緊急連絡カード」を作り、電話機の傍に置いてもらうことにしました。

町内会で大切なのは情報の共有化です。月2回「町内会だより」を発行し、回覧しています。なごやかな、絆ある町内会を目指しています。



▲納涼大会

平成23年度朝霞市自治会連合会役員

役職	名前	団体役職名
顧問	金子 好隆	社会福祉協議会長
会長	島 礼次	向山自治会長
副会長	川野紀代美	シャルマンコーポ第二朝霞自治会長
副会長	梶原 孝男	下の原町内会長
副会長	伊藤 允光	浜崎上町内会長
会計	松井 宏之	東かすみ台町内会長
会計	松田 忠男	浜崎団地自治会長
理事	鈴木 昭八	緑ヶ丘親交会長
理事	高橋 優	下の原南部町内会長
理事	星野 隆	溝沼第一町内会長
理事	獅子倉康治	溝沼下町内会長
理事	深津 廣良	中央町内会長
理事	水久保亀幸	仲町町内会長
理事	谷内 周平	栄町町内会長
理事	織部 邦隆	昭和台町内会長
理事	醍醐 清	田島町内会長
理事	五十君欣司	境久保町内会長
監事	海野 進	コンフォール東朝霞自治会長
監事	芳野 浅嗣	広沢町内会長

● 広報委員会名簿

委員長	浜崎上町内会	伊藤 允光
自治会連合会	向山自治会	島 礼次
自治会連合会	シャルマンコーポ第二朝霞自治会	川野紀代美
自治会連合会	下の原町内会	梶原 孝男
1 区	膝折団地自治会	倉林ミチ子
2 区	三原町内会	室谷外喜男
3 区	溝沼下町内会	獅子倉康治
4 区	中央町内会	深津 廣良
5 区	昭和台町内会	織部 邦隆
6 区	城山町内会	大岡 昇
7 区	田島町内会	醍醐 清
8 区	浜崎団地自治会	松田 忠男

編集後記

東日本大震災、誰も予想しなかった原発事故、戦後最大の震災、膨大な自然の力に我々は何も出来なかった。多くの被災者を出した震災は現代社会に大きな衝撃を与えた。また原発事故は未だに解決しない問題、私たちは今後の対策として何から学ばべきか、防災は国や自治体に任せたいものか考えるべきと思う。各自が防災知識を学び訓練等積極的に参加すべきと思う。それには各自自治会、町内会も重要な役割となる。自治体との連携を密にすることが、防災意識につながる。この度の震災を契機に各自が防災知識を高めれば良いと思う。

6 区 城山町内会 大岡 昇

ありがとう
ございました



退職自治会・町内会長

この紙面で、昨年度をもって退職された自治会・町内会長の皆様をご紹介します。

〈敬称略〉

在職 6年 麦島 保
在職 8年 岡崎 和広
旭通り町内会 霞台町内会

在職 1年 石田 武志 霞ヶ丘親睦会	在職 1年 蘭 仲子 富士見台自治会	在職 2年 須田 清政 浜崎東町内会	在職 2年 鈴木 龍久 広沢町内会	在職 2年 大野 義定 県営朝霞幸町団地自治会	在職 4年 渡辺 勝治 東南部町内会
-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------------	-----------------------

表紙の写真

平成23年5月20日、市民会館で自治会連合会定期総会が開催されました。在職8年の岡崎和広様をはじめ、在職2年以上で退職された方に、市長・連合会長連名による感謝状と記念品が授与されました。平成22年度事業報告、決算報告および監査報告、平成23年度事業計画、予算案について審議され、すべて原案どおり承認されました。